

警戒レベルと住民がとるべき避難行動の表

警戒レベル (洪水, 土砂災害)	住民がとるべき行動	行動を促す情報	防災気象情報・水位情報等 (気象庁, 国土交通省, 都道府県)
警戒レベル 5 (洪水・土砂災害)	命を守る最善の行動	災害の発生情報 (出来る範囲で発表)	指定河川洪水予報 土砂災害警戒情報
警戒レベル 4 (洪水・土砂災害)	ひなん避難	・避難勧告 ・避難指示 (緊急)	警報 危険度分布等
警戒レベル 3 (洪水・土砂災害)	高齢者等は避難 他の住民は準備	避難準備, 高齢者等 避難開始	
警戒レベル 2 (洪水・土砂災害)	避難行動の確認	注意報	
警戒レベル 1 (洪水・土砂災害)	心構えを高める	警報級の可能性	

在校時以外で、警戒レベル4が発令されたら、土砂災害警戒区域などの※危険な場所にいる児童生徒は避難場所へ避難をします。また、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所への避難をします。

※危険な場所とは、土砂災害の場合は土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域、土砂災害危険箇所、洪水害の場合は洪水浸水想定区域などを指します。

【参考】

- 避難勧告等に関するガイドラインの改定～警戒レベルの運用等について～

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/guideline_kaitei.pdf

災害種別	命を守る最善の行動例
洪水	近くの安全な場所に避難するか、屋内の安全な場所に避難する。
土砂災害	近くの安全な場所に避難するか、屋内の山から離れた高いところに避難する。

「命を守る最善の行動」とは、避難することがすでに危険な場合などは屋内のより安全な場所に移動するなど、各々が状況を見極めて適切な災害回避行動をとることを意味しています。